

子うぐいすと母うぐいす

小川未明

青空文庫

毎朝まいあさきまつて、二羽にわのうぐいすが庭にわへやってきました。

「お母かあさん、きょうもまた、うぐいすがきましたよ。」

正しょうちゃんちゃんは、ガラス戸どから、こちらをのぞいていました。

「餌えをさがしにくるのです。」と、お母かあさんは、おっしゃいました。

「母ははうぐいすと、子こうぐいすですね。」

「きつとそうでしょう。お山やまで生うまれた子こ供どもをつれて、冬ふゆになったから里さとへきたのです。」

「かわいいな。」と正しょうちゃんちゃんは、見みていました。

うぐいすは、赤あかい実みのなつた枝えだに止とまつたり、また常とき磐わ木ぎの間あいだをくぐつたりして虫むしをさ

がしながら、チャツ、チャツと、いつて鳴ないていました。

「ああ、もういつてしまった。」と、正しょうちゃんちゃんがいました。そのうちに、兄にいさんさんや、姉ねえ

さんが、学が校こうから帰かえつてきました。うぐいすの話はなしが出でると、

「明日あした、うぐいすをとつてやろう。」と、兄にいさんさんがいました。

「そんなことをするもので、なくつてよ。」と、姉ねえさんさんが、いました。

「上じょう手ずに飼かうと、三がつ月ごごろいい声こえで鳴なくぜ。」と、兄にいさんさんが、いました。

だまつて、兄にいさんの話はなしをきいていた正しょうちゃんは、うぐいすをかごの中なかに入れて、自分じぶんでかわいがつて、飼かつてみたくなりました。

「お兄にいさん、うぐいすをとつておくれよ。」と、正しょうちゃんは、頼たのみました。

「かわいそうだから、そんなことをしてはいけません。」と、お母かあさんが、おつしやいまして。

「じゃ、僕ぼく、はとを飼かつてもらうよ。」

「いけません。」

「じゃ、犬いぬを飼かつてくれる？」

正しょうちゃんは、なんといつても、いうことをききません。

「よし、明日あした、うぐいすをとつてやろう。」と、兄にいさんが、いいました。

「そんな約束やくそくをして、もしとれなかつたら、また大騒おおさわぎですよ。」と、お母かあさんは、心配しんぱいなさいました。

「なに、僕ぼく、うまくとつてみせます。」と、兄にいさんは、正しょうちゃんに、約束やくそくをしました。

いよいよ翌よくじつ日のことでした。兄にいさんは、虫むしをかごの中なかへ入れて、うぐいすが、それを食べたに止とまると、上うえからふたの被かぶさるような仕掛しかけにして、これをつばきの木きの下したに置おき

ました。

みんなが、忘れていた時分、

「うぐいすがかかっている！」と、正ちゃんが、叫びました。兄さんはすぐに飛んでいて、とつたうぐいすを別のかごの中に移しました。

「まだ、子供だな。」と、小さいうぐいすを見ながら、兄さんがいいました。

「かわいそうだから、逃がしてやってよ。」と、姉さんが、いいました。

「逃がしちやいけない。」と、正ちゃんが、ききません。

「おもしろいな、まだとれるぜ。」と、兄さんは、いまとつたうぐいすに餌を造ってやってから、またつばきの下へ、捕りかごを出しておいたのです。

「なんで、そんなにとれるのですか。」と、お姉さんが、いいました。そしてみんなが、ふろしきをかけた鳥かごを見ながら、かわいらしいなどと話していると、また、ばたばたといつて、ほかのうぐいすがかかったのであります。

捕りかごのところへ走っていった、兄さんが、

「大きい、母うぐいすだ。」と、いったときは、みんな、顔を見合わせて「まあ。」といつて、ほかに言葉が出なかつたのであります。独り、正ちゃんだけは、うれしがって、

「二羽、いつしよにしておくといいいね。」と、いつていました。

「ねえ、正ちゃん、子供をさがしにきて、お母さんもかかったのですよ。もし正ちゃんが人さらいにつれてゆかれて、それをさがしにいったお母さんもつかまったらどうしますか。」と、お母さんが、おっしゃいました。

「かわいそうだから、逃がしてやろう。」と、すぐに、兄さんが、いいました。そして、正ちゃんも、また、お母さんの話が、わかつたとみえて、

「こんど、ほかのをとつたら飼つてね。」と、いいました。

「さあ逃がしてやりますよ。」

兄さんは、みんなの前で、二羽のうぐいすの入っている、かごのふたを開けました。すると、みなさん、どちらが先に口から出たと思えますか？ 先に子うぐいすが出ました。

母うぐいすがその後から逃げてゆきました。

「みんな、よく、いまのを見て？」と、そのとき、お母さんが、感心しながら、子供たちを見ておっしゃいました。

青空文庫情報

底本：「定本小川未明童話全集 10」講談社

1977（昭和52）年8月10日第1刷

1983（昭和58）年1月19日第6刷

※表題は底本では、「子《こ》うぐいすと母《はは》うぐいす」となっています。

入力：特定非営利活動法人はるかぜ

校正：酒井裕二

2015年5月24日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

子うぐいすと母うぐいす

小川未明

2020年 7月18日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>